

咲き誇れ秋田

日銀秋田支店長の目

先日、都道府県魅力度ランキングに根拠が不明確だと怒りの声を上げた知事がいた。秋田県は26位。可もなく不可もなくといったところか。私のような秋田初心者、当地に来る前に、都道府県のいろいろなランキングを見て、秋田の風土や文化、県民性を想像する。そして、それは秋田の強み、弱みも浮き彫りにする。秋田県に関する全国ランキングには、人口増減率や64歳以下の人口割合など、県民の皆さんもなじみのある最下位の指標が並んでいる。それらに加え、人口問題の根幹に関わる指標が2000年から20年連続で全国最下位となっている。

婚姻率である。私は、当地に着任する前、秋田は未婚の方が多いのだなあと勝手に思っていた。ただ、周囲に聞くと、「そ

本県婚姻率



年代ごとに分析、対応を

「の策定に向け、人口減少に関する分析と視点を分かりやすく取りまとめている。資料には、当地における女性の婚姻率を年代別に整理し、これまでの推移

を掲載している。そこで、企画振興部から女性の年代別の婚姻率、人口のデータを都道府県別にいたいただき、分母を年代別の人口に置き換えた婚姻率を調べてみた。当地の女性の平均初婚年齢（29・7歳）を基準に、例えば、20～39歳の女性の婚姻率19年度、以下同じ）をみると全国27位。県の魅力度と同じくらい

であり、決して秋田は結婚に不利な県とは言えないことが分かった。ただ、私のように誤解している人は世の中に多いかもしれない。婚姻率が全国最下位というのは実態を適切に示していないと怒りの声を上げても良さそうだが、ちなみに、この年代でみた婚姻率が最も低いのは埼玉県、次いで千葉県。両県とも表面上の婚姻率は上位を占めている。そしてその次は宮

城県となっている。秋田県の女性の婚姻率を20代と30代に分けてみると、20代女性の婚姻率は全国17位であるのに対し、30代女性の婚姻率は37位。配偶者がいる割合（15年度、以下同じ）も20代女性は全国22位であるのに対し、30代女性は全国36位となっており、いずれも20代女性と30代女性で少し様

35歳ごろまでに結婚したいとしている。こうした調査結果をみると、今後も婚姻率を年代・男女別などに分けて子細に分析し、実態に即した対応策を講じること、そして地域で盛り上げていくことが大事だと思われる。婚姻率に関しては、秋田県「少子化要因調査・分析事業」報告書では、秋田らしい自然な出会いの場として、厄払い・年祝いの行事や地域のお祭りなどが挙げられていた。また、他地域では、金融機関自ら無料の結婚相談所を開設し、その安心感から好評の話もある。

婚姻率の正確な実態把握とさまざまな取り組みが当地でも広がりを持って実を結び、分母が県内総人口であっても全国最下位を返上できれば秋田の未来にも大変良いことだと思いがたいかだろうか。

（真鍋隆・日本銀行秋田支店長）

〈随時掲載〉